

神の建築家「アントニ・ガウディ」のあゆみ

- 1852年 スペインのレウスに生まれる
- 1873年 バルセロナ建築学校に入学
- 1878年 建築家となりバルセロナに事務所を構える
5月にはパリ万博のショーケースをデザイン
- 1883年 サグラダ・ファミリアの二代目建築家に抜擢
- 1894年 断食をおこなう
- 1900年 グエル公園の建設を開始 (1914年完成)
- 1906年 カサ・ミラの建設を開始 (1912年完成)
- 1926年 路面電車にはねられて亡くなる

※年表に関しては諸説ございます。

ガウディの作品は、数多くの世界遺産に。

1984年、「バルセロナのバルケ・グエル、バラシオ・グエル、カサ・ミラ」の名称でユネスコ世界遺産に登録。2005年には追加登録をし、「アントニ・ガウディの作品集」に改称されました。

登録されているガウディ作品

- ・グエル公園
- ・グエル邸
- ・カサ・ミラ
- ・カサ・ピセンス
- ・サグラダ・ファミリアの生誕のファサードと地下聖堂
- ・カサ・バトリョ
- ・コロニア・グエル聖堂の地下聖堂

もっと知りたい！

アントニ・ガウディ



命がけの断食

1894年、サグラダ・ファミリアをはじめ数々の建築に携わり疲労していたガウディは四旬節の伝統に従って断食に入りました。しかし断食の40日間を過ぎても解こうとせず、命の危機に瀕します。この時、彼を救ったのは神父の声。以降、サグラダ・ファミリアの完成に向けて奮い立ったと言われています。

カボチャを足に履いていた？

質素な生活をしていたガウディ。常にボロボロの服を着ていました。その理由はサグラダ・ファミリアの建設に集中するため。やがて靴下すら履かなくなり、カボチャの繊維を乾燥させたものを靴の中に入れて過ごしていたそうです。

エウゼビ・グエルとの絆

グエル公園やグエル邸など、ガウディの作品には「グエル」の名の付くものも多くあります。駆け出しの頃に作成したパリ万博のショーケースのデザインに感銘を受けたグエルは、ガウディのもとを訪ねます。以後、ガウディは生涯にわたりグエルの依頼を受け、数々の建築物を残すことになりました。

鑄 造：王立スペイン造幣局
発 行：スペイン王国
国内販売元：泰星コイン株式会社
お問い合わせ：アントニ・ガウディ没後100年記念コイン事務局（泰星コイン内）
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-9-4 西野金陵ビル1～3階
TEL.03-6735-2106
<https://www.taiseicoins.com>
E-mail: business@taiseicoins.com

お申込みはWEBサイトよりお願いいたします

お取扱期間／2026年4月13日（月）～2026年4月28日（火）



右記の二次元バーコード、
または以下のURLよりお申込みください。



●お申込みURL●

<https://www2.resona-gr.co.jp/seminar/resonabank/req260008/>

時空を超えた旅へ。



アントニ・ガウディ 没後100年記念コイン



建築に人生をかけた偉人。 ガウディの世界がここに。

サグラダ・ファミリアをはじめ、数々の歴史的建造物を手掛けた稀代の天才「アントニ・ガウディ」。2026年、この偉大なる建築家が亡くなって100年を迎えます。

世界遺産にも数多く作品が登録され、「神の建築家」とも称されるガウディ。この2026年は、サグラダ・ファミリアの「イエス・キリストの塔」が完成予定とされており、まさに記念すべき年になりそうです。

今回発行される記念コインも、彼の功績を余すことなく堪能できるデザインに仕上がりました。緻密な彫刻、鮮やかな色彩…。傑作が時を超えてコインで輝きます。

コレクションとしてはもちろん、門出や記念日を飾る記念品として、また旅行の思い出を振り返る1枚としてもぴったりです。ぜひこの機会に、不朽の芸術に触れてみませんか。



GOLD COINS

いま甦る輝かしい功績。



裏面



A 400 ユーロ金貨 〈サグラダ・ファミリア〉

限定220枚

1,595,000円(税込)

中央には2026年に完成予定の「イエス・キリストの塔」が描かれた状態のサグラダ・ファミリアを緻密に描写。手前の木々や水面が存在感をより際立たせています。背景にはガウディデザインによるモザイクがデザインされ、聖堂の装飾的な美しさも表現。上部には「SAGRADA FAMILIA」の文字、右側には額面とミントマークを刻印しています。

【サグラダ・ファミリア】ガウディ建築の象徴であり、今なお建設が続く未完の聖堂。ガウディは、1883年に二代目建築家としてプロジェクトを引き継ぎました。聖堂全体を聖書として表現する構想を練り上げ、40年以上にわたり心血を注ぎました。2026年には「イエス・キリストの塔」が完成予定で、没後100年と併せ注目が集まっています。



裏面



B 100 ユーロ金貨 〈サグラダ・ファミリア〉

限定250枚

412,500円(税込)

中央には2026年に完成予定の「イエス・キリストの塔」が描かれた状態のサグラダ・ファミリアをデザイン。上部には「SAGRADA FAMILIA」の文字、左側には王立スペイン造幣局のミントマーク、右側には額面とガウディのデザイン思想を反映したモチーフを刻印。



裏面



C 100 ユーロ金貨 〈グエル公園〉

限定170枚

412,500円(税込)

中央には公園の象徴でもあるモザイクタイルのトカゲの噴水を描写。背景には特徴的な建物と階段を配し、遊び心あふれるグエル公園を印象付けるデザインです。上部には公園名「PARQUE GÜELL」を刻印。右側には額面とミントマーク、さらにガウディのデザイン思想を反映したモチーフをデザイン。

【グエル公園】実業家エウゼビ・グエルの依頼を受けて手がけた、自然と芸術が融合した公園。邸宅と共生する都市計画としての側面も持ち、約14年かけて建設されました。波打つベンチやカラフルなモザイクタイルで飾られたトカゲの噴水、キノコのような形をした家々など、自然の地形に溶け込むようにデザインされた曲線が特徴です。



裏面



D 100 ユーロ金貨 〈カサ・ミラ〉

限定130枚

412,500円(税込)

中央には波打つような独特の外壁と、錬鉄製のバルコニーが印象的な「カサ・ミラ」をデザイン。手前に配した木々が、その有機的な曲線美を際立たせています。上部には建物名「CASA MILÀ」と額面を刻印。左側にはミントマーク、右側にはガウディのデザイン思想を反映したモチーフをデザイン。

【カサ・ミラ】直線をほとんど用いないガウディのデザイン哲学が凝縮された集合住宅。外観の波打つ曲線は地中海をイメージ。内部も光や風をとり込む工夫がされ、天井の彫刻や独特の形状の煙突など細部まで芸術性が光ります。「住める彫刻」と称されるガウディの代表作のひとつで、現在も4世帯が居住しています。

その独創性は、
今も色あせない。



裏面

1 10 ユーロカラー銀貨 〈サグラダ・ファミリア〉



E 金貨3種セット BCD

限定150セット

1,237,500円(税込)

〈金貨・銀貨共通 表面デザイン〉

中央には写真家ポー・オードゥアールが撮影したガウディの肖像。上部には名前「Antoni Gaudí」が刻まれています。左側には1904年に設計した六角形のモザイクタイル（通称パノ・ガウディ）を描写。コインの周囲には、グエル公園入口にある建物の屋根をモチーフにした装飾を施しています。



六角形のモザイクタイル「パノ・ガウディ」



グエル公園入口の建物の屋根



SILVER COINS

思わず見とれる美しい色彩。



裏面

2 10 ユーロカラー銀貨 〈グエル公園〉



裏面

3 10 ユーロカラー銀貨 〈カサ・ミラ〉



F カラー銀貨3種セット 123

限定500セット

132,000円(税込)

〈規格〉

		額面	品位	重量	直径	状態	発行限度数	対口割当数
金貨	A	400ユーロ	99.9%	2700g±0.27g	38mm	プルーフ	600枚	220枚
	B	100ユーロ	99.9%	6.75g±0.15g	23mm	プルーフ	1,300枚	400枚
	C	100ユーロ	99.9%	6.75g±0.15g	23mm	プルーフ	1,300枚	320枚
	D	100ユーロ	99.9%	6.75g±0.15g	23mm	プルーフ	1,300枚	280枚
銀貨	F ①②③	10ユーロ	92.5%	2700g±0.27g	40mm	プルーフ	各4,000枚	各500枚

- 取扱期間内でも、限定数に達した時点で取扱いを終了します。
- 各商品すべてに特製ケースと発行証明書をつけてお渡します。
- プルーフとは、鑑賞用に美しく磨かれた鏡面仕上げのことです。
- コインの写真は、ケース入り写真以外はほぼ実物大です。
- 記念コインはあくまでも収集・鑑賞を目的とした商品です。価格変動による利益を目的とした投資商品ではありません。
- 泰星コインにて買取を承っておりますが、買取金額は購入金額を下回る場合があります。※各ケースのデザインは一部変更となる場合があります。※本コインは、製造過程において固有の製造痕や微細な風合いの違いが生じることがあります。これらは製造元である造幣局の品質基準を満たした合格品となっており、商品交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。